

今年度最後の定例会の開催

令和3年2月26日(金)午後2時。緊急事態宣言下での定例会となり、場所を市民総合会館小ホールに変更し、開催となった。



冒頭奥田会長より。

コロナの影響で一年間連絡会の定例会が開催出来なかったが、各会員施設が活動されていた事への御礼を述べる。また「社会資源マップ」が遂に完成し、本日配布出来ることにならず感謝致します。

このところ全国の大都市の福祉施設などでクラスターが発生されたと報道がある中、お陰様で、市内でクラスターが発生していない。日頃の皆様の感染予防の努力の賜物であると感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

大阪府下でも、再貸付の受付が始まり、府内7万世帯に申込書を配布。26日時点で藤井寺市社協にすでに申込みが100件を超えている。今後貸付支援だけでなく、生活支援も必要になってくると思うので留意して頂きたい。

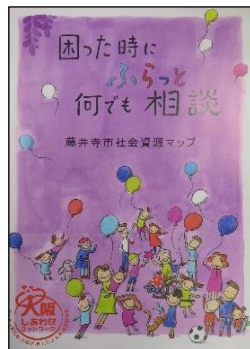
国がコロナで「孤独」「孤立」した人が増えている。「孤独」「孤立」した人を増やさない為、担当大臣を任命してどう対策をしていくのか。我々社会福祉法人もその対策をしていかなければならないと思います。と、締めくくる。

新役員選出

徳畑副会長から、次期新役員についての選出方法を定例会の参加施設に諮ったところ、現任役員で決定する案が賛成多数で可決された。その後、現任役員で協議があり役員が決まり、報告が行われた。詳細は次号で。

社会資源マップの完成報告

「地域の社会資源の見える化」を目的とし、地域の方々や関係機関のご協力を得ながら作成した「藤井寺市社会資源マップ」がこの度完成し、会員施設に報告を行った。マップの作成で終了でなく、このマップを始まりとして、地域住民同士の身近な社会資源についての話し合いと、社会資源の情報を必要とする市民への情報提供のきっかけとなればと考えている。



完成したマップの表紙

奥田会長の退任のあいさつ

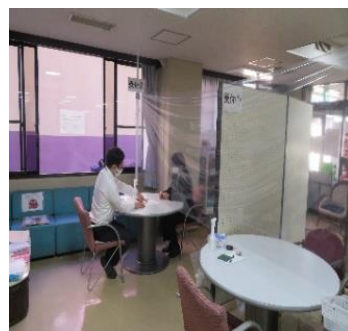
来年度の役員改選により、3月末をもって退任する奥田会長からの挨拶があった。

「約20年前、2004年の生活困窮者レスキュー事業に始まり、今から5年前の藤井寺市施設連絡会設立と運営に携わってきた。ずっと思ってたってきた思いがある。5年間ご協力いただいたここまで来られたことに感謝を申し上げます。」
『情熱のままに、前進あれ!』
と、退任の挨拶を結んだ。

再貸付の受付開始

令和3年2月15日から、再貸付の受付が始まった。コロナ後の長引く不況や時短営業等で困窮する世帯に対し、3ヶ月で最大約60万をこれまでのコロナ貸付対象者に新たに貸付を行うものである。

藤井寺でも第一弾として、約230件の世帯が対象となり、社協では窓口を増設して対応に当たっている。申請を受け付けた際に、社協職員が社会貢献事業の紹介をし、チラシを渡している。その成果もあり、実際に会員施設が支援し、困窮世帯を適宜支援する事例も増えてきている。



増設した貸付専用の窓口の様子

とっとり委員会の開催

令和3年2月15日、つどりホールで、今年度最初のとっとり委員会を開催。どうみょうじ高殿苑、藤井寺特別養護老人ホーム、つどりホールからの事例の報告があった。同日、毎日放送からの取材を受けた。

〈 次回の定例会 〉

令和3年4月22日(木)
午後2時
福祉会館で実施予定です。



